

こころと

2014.7

Vol.29

特集

「児童思春期外来」の

取組み状況について

地域の方々をサポートする

体制づくり(2の2)

理 念

- ・愛のある医療
- ・良識に基づいた医療
- ・公正、公平な医療

基本方針

1. 良質な医療の提供につとめます。
2. 患者さま、利用者さま中心の医療を行います。
3. 地域に立脚した医療を行います。
4. 安全で安心と満足の得られる医療を提供します。
5. 保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます。

contents

■特集

「児童思春期外来」の
取組み状況について
地域の方々をサポートする
体制づくり(2の2)介護部門

■インフォメーション

佐藤病院 外来
介護保険のこれまでの経緯と
取組みについて

■シリーズ

現場で働く人・健康

■トピックス

公徳会 創立“35周年”
花いっぱい運動
オリジナル経口補水液
病院機能評価 新Ver.1
県代表・ソフトバレー部健闘
3施設合同デイケア運動交流会

■野球部の活動状況

ドクター紹介
公徳会より「夏のお知らせ」
看護学生職員募集

■診療予定・医療情報
外来受付予定表
診療情報・病院評価

「児童思春期外来」の 取組み状況について

児童思春期外来とは

心身ともに発達途上にある子どもたちの精神的な問題には、大人とは違う様々な配慮が必要です。このような子どもたちの心身の問題を総合的に評価し、診断や治療予防を行っていくのが児童精神医学です。この児童精神医学の視点に立脚して治療を行うのが児童精神科です。

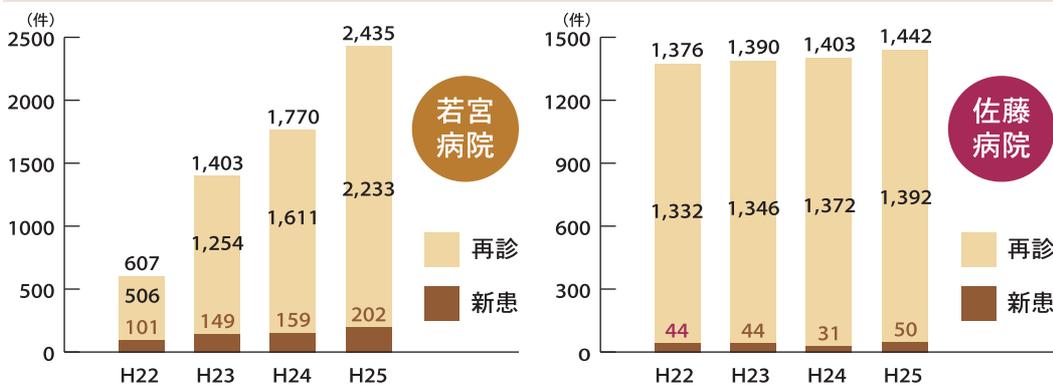


公徳会における 児童思春期外来について

全国で児童精神科医学を専門とする精神科医の数はまだ大変少なく、山形県内でも本格的に児童精

児童思春期外来患者数の推移

はほとんどないのが現状です。こ



診療時間

佐藤病院児童思春期外来

予約制 毎週金曜日

若宮病院児童思春期外来

予約制 毎週火曜日午後、
水曜日午前中

のような中で公徳会は、佐藤病院では平成17年から、若宮病院では平成22年から、「児童思春期外来」の名前で、いち早く専門外来を立ち上げて活動を続けています。佐藤病院では北海道大学の齋藤卓弥先生が、若宮病院では日本医科大学の成重竜一郎先生がそれぞれ週1日診察に当たっています。それぞれ日本における児童精神医学の中心的役割を担っている先生方です。両先生のもとで若手の先生方も積極的に研修を続けているので、今後は児童思春期を診る事ができる医師が増えていくことが期待されています。

児童思春期外来の取組みとその特徴について

児童思春期外来では、明らかな精神疾患や発達障害を持つ子どもたちのみならず、18歳以下のすべての精神神経科領域の障害を対象とし、また、家族や学校からの相談も積極的に受ける、という体制をとっています。病院を受診した方が良いかどうかを悩むようなケースでも事前相談という形で相談を受け付けています。

初診時は、まず精神保健福祉士による詳しい聞き取りを行い、医師による診察だけではなく、臨床心理士による心理検査なども行い、多角的総合的な見立てを行うよう努めています。実施された心理検査等の結果については本人や家族にしっかりと説明することを心がけています。

また子どもたちにとって、本来生活する場所へとなるべく早くに復帰し、適





応を回復することが治療の目標です。そのためには、医療だけでなく、教育や福祉、保健などが広い視点に立って支援を行うことが大切になります。必要と判断した場合、本人や家族と相談の上、子どもたちが関わる諸機関との連携を積極的に行うようにしています。統計を取ってみると児童思春期外来を受診したケースの約7割が何らかの形で関連機関との連携を行っています。連携先としては学校をはじめ、児童相談所、保健所、自治体、教育委員会などがあげられます。

このような連携が可能となった背景には、発足以来一貫して地域とのつながりを大切にし、地域に根ざした医療・福祉・保健を目指してきた、公徳会の基本的な理念と方針があったからと考えています。このような他の機関との連絡や話し合いには、病院に常勤している臨床心理士や精神保健福祉士な

どのコ・メディカルスタッフと呼ばれる複数の職種の人たちが積極的に関わっています。公徳会はこのようなコ・メディカルスタッフの充実に力を入れていて、児童思春期に限らず、多職種チームによる連携の中で日々の活動を続けています。

南陽市との共同事業について

このように児童思春期外来は地域との連携を積極的に行ってきたわけですが、この歩みの中で、南陽市より子どもたちへの相談事業への協力依頼があり、佐藤病院で平成21年度から、南陽市との共同事業「南陽そだちとこころの相談」を行っています。

これは、市の福祉課児童係で受け付けた相談ケースを、佐藤病院の臨床心理士が専門的な視点でお話をお聞きして、適切と思われる対応や専門機関の紹介などの助言を行うものです。相談は子どもたちとご家族はもちろんのこと、子どもたちにかかわっている幼・保育園、学校の先生方も対象としています。また要望があれば、園や学校などに訪問して相談に乗る、ということも行っています。

さらに、市の三歳児検診に病院臨床心理士が立会い、子どもたちの発達や育児に関する相談を受けける活動も平成22年度から開始して

います。事業に対してのニーズは年々高まり、相談件数も増えています。このような活動により、子どもたちの問題の早期発見と支援さらに予防に繋がれば、地域の子どもたちに成長のためのより良い環境を提供することに貢献できると考えています。



米沢駅前クリニックでの取組みについて

米沢駅前クリニックでも、児童思春期への要望が高まっています。まだ専門外来を開くまでには至っていませんが、平成24年度から臨床心理士が週1日半常駐するようになり、相談や検査を受けやすくなりました。事前相談も受け付けています。

専任医師のほか看護師、臨床心理士、精神保健福祉士がチームとして対応しています。

ご予約はまず病院に電話で「児童思春期外来の予約をしたい」とお話しください。担当の精神保健福祉士が対応いたします。病院に受診したほうが良いかどうか迷われている場合にも、まずは電話をいただければ、スタッフがご相談に応じます。

- 佐藤病院・医療福祉相談室 (0238-40-3170・24時間受付)
- 若宮病院・医療福祉相談室 (023-643-8222・24時間受付)
- 米沢駅前クリニック・外来 (0238-26-5810・8:30~16:30受付)



地域の方々をサポートする体制づくり

2の2 介護部門

前回の福祉部門（精神障がい）に次いで、今回は「介護部門（認知症等）」についてご紹介いたします。介護については各部署で「高齢者のグループホーム施設」や「ドミール南陽」などを立ち上げて運営し、サポート体制づくりを進めています。「医療部門」にも介護部門に関わる部署がありますので併せてご紹介いたします。「その他部門（訪問看護など）」は次回（26年10月発行予定）ご紹介いたします。

はじめに（ご相談窓口等）

皆様からのご相談については「医療福祉相談室」（佐藤病院・スタッフ10名、若宮病院・スタッフ6名）で内容等をお聞きし、病院や前回の各施設、今回の各施設等を総合的にご案内しております。



「佐藤病院・認知症疾患医療センター」では特に認知症について幅広くご相談に応じておりますので併せてご利用ください。

介護部門（認知症等）

1 施設 めくもりの家（総称）

2棟（名称：東・西棟、定員18名）
▼スタッフ15名・非常勤看護師1名
☎0238-43-4171

高齢者のグループホーム施設です。南陽市在住の認知症のある方で、介護認定・要支援2以上の方



方々18名がご利用・入居中です。認知症の高齢者の方々が全室個室にて共同生活中心の日常生活面の



介護支援の他、利用者とスタッフが共同で機能訓練として食事の準備等を実施
●入居期限がなく、少人数の方々を家庭的な介護でサポートしています。

2 訪問 居宅介護支援事業所

主に置賜圏内（担当の専門員がご自宅訪問）
▼スタッフ3名
☎0238-43-8313

介護支援専門員（ケアマネージャー）が、ご自宅に訪問しご本人

およびご家族と一緒に介護計画を考えるほか、必要なサービスの利用援助を行います。

●県の指定を受けた事業所で、対象は介護サービスを利用したい方

●電話でご連絡をいただきスタッフがご自宅や医療機関を訪問

●ご相談内容に基づき今後の介護計画についてサポート
●申請代行の他、介護相談、介護サービス提供事業者との調整もサポートしています。



3 施設 ドミール南陽

1棟（定員①入所100名、②ショートステイ6名、③通所リハビリテーション20名）
▼スタッフ64名
☎0238-40-3888

家庭と病院との

中間的な施設にあたり、入院治療を必要としない病状の安定した利用者さまが豊かで健康やかな生活を送られますよう、医療・リハビリテーション・看護・介護等のサービスを提供しています。

●1入所（療養ショートステイ含む）
●医師の健康チェックや介護・リハビリテーション等の実施

●レクリエーションや趣味等、文化サークル活動の開催ほか

●2ショートステイ（短期入所）

●冠婚葬祭等に伴う一時的な利用や



26年5月 県立高島高校のボランティア授業より



介護疲れ等による負担軽減時に利用

● 日常生活全般

の介護や機能訓練などのサービスを提供

● 3 通所リハビリテーション

● 日中通所していただき右記①②のサービスを提供

● 希望により、土日を除いて毎日利用可能です（祝日も土日以外の場合利用可）

利用可能です（祝日も土日以外の場合利用可）

4 施設 ヒルサイド羽黒

1棟（定員▼40室49名）
▼スタッフ30名



満65歳以上・自立者から要介護者の方々が入居対象となり、医療との連携・サービスの連携・一人お一人の生活に合わせた幅広いケアを提供しています。

● ライフスタイルやご希望に応じた3タイプ（ご夫婦用、単身用等）の居室を準備・提供、医療ケアも充実

● 談話コーナー、機能訓練コーナー等の供用施設も充実

● 庭園（3000坪）を散歩する



もよし、天然温泉（名湯・赤湯温泉）に浸りながら眺める四季折々の風情も格別、至福の一時を包んでくれます

5 施設 認知症デイケア

三医療機関内の認知症デイケア
▼5棟（通称・はつらつデイケア）
▼スタッフ総数71名



通所者の方々に多様なニーズに応えたプログラムや交流面のサポートを実施して、地域の皆さまとの交流を図るとともに地域施設での体験を通して自律的な生活を送ることができるよう支援している施設です。

① 認知症デイケア A・E（5単位

122名、トータルヘルスクリニック・南陽市） ☎023814315088

● 万一身体面の不安が発生しても内科を併設しており素早い対応が可能

● 利用者様の状態に応じ、歩こう会やパワーリハビリテーションを開催



② 認知症デイケア（2単位50名、若宮病院・

山形市） ☎0231643182

● 近隣保育所児童が来所しての敬老会開催等、地域との交流活発

● 利用者さまの作品を各作品展に出展、複雑な作品も協同挑戦し完成化

● ③ 認知症デイケア（3単位75名、米沢駅前クリニック・米沢市）

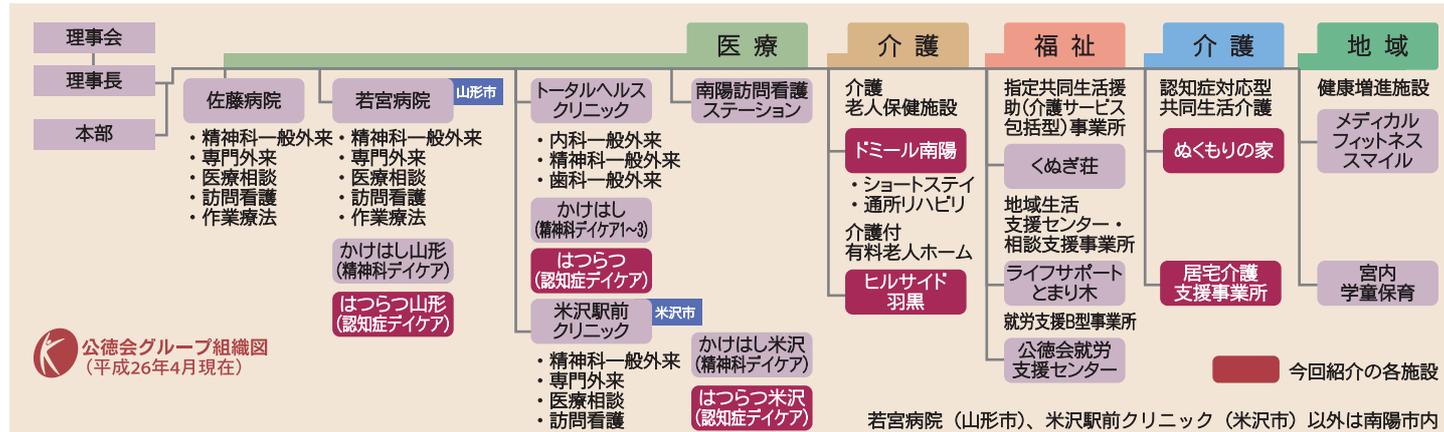
☎023812615810

● 集団・個別リハビリの他、趣味のクラブ活動等、豊富な活動内容

● ご家族の方とも信頼関係を保ちながら多様なサービスを提供

最後に

特に認知症の専門窓口として佐藤病院内に「認知症疾患医療センター（1室、新外来・入院棟内）」を設置しています。通常相談業務のほか、月1回ティータムでお気軽にご利用頂ける「オレンジカフェ」（無料、他市内3ヶ所開設中）をオープンし、困り事・悩み事をはじめ、最近の状況や環境施設等の確認、今後に向けた物心両面の準備等の確認などご相談等にお応えしていただきます。ぜひご利用ください。



佐藤病院 外来

外来は現在職員3名体制（看護師2名 ケアワーカー1名）で、患者様やご家族の方々へ安心・安全な医療の提供に努めております。特に初診の方には少しでも不安がなくなるよう分かりやすく説明し診察が出来るよう配慮しております。今年3月末に新外来・入院棟がリニューアルしました。これまで以上に笑顔絶やさず心からの対応を心がけてまいります。

一般外来のご案内

今年1月より3名、4月より2名の医師が新たに仲間入りし、更に質の高い医療の提供が出来るようになりました。電話予約も受け付けていますのでお気軽に声をかけてください。

専門外来のご案内

専門外来とは・・・



精神科も他の一般科同様、専門性による機能の分化が進んでまいりました。

その分野に精通した医師が担当し、より正確な診断と治療を受けることができることは患者様にとっても大変恵まれた環境と云えます。当院では各分野の専門医師により、以下の専門外来での診療を行っています。

◆アルコール外来

①自分の酒量を減らさなければいけないと感じたことはありませんか？

②周囲の人に自分の飲酒について批判されて困ったことがありますか？

③自分の飲酒についてよくないと感じたり、罪悪感をもったことがありますか？

④朝酒や迎え酒を飲んだことがありますか？

①～④のうち2項目以上あてはまれば、アルコール依存症の可能性が高まります。アルコール依存症は、慢性的に進行する「病気」ですが、回復可能な病気でもあります。アルコール関連問題でお困りの方はお気軽にご相談下さい。

◆児童・思春期外来

児童思春期に特徴的な発達上の問題や障害、広汎性発達障害（自閉症など）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）など、18歳以下のすべての精神神経科領域の障害を対象としています。ご家族の方、教育にたずさわる方々のご相談もお受け致しますのでご相談ください。（本誌P2～3の特集記事もご覧ください。）

◆ほほえみ（うつ）外来

一生のうちに「うつ病」にかかる方は人口の約10%ともいわれ、最もよくあるところの病気です。脳の一部で神経と神経の間を連絡

する伝達物質が減少して症状が現われます。きちんとその物質を補うなどの治療をすれば症状が良くなる可能性がとても高いのです。治療のパートナーとして、「ほほえみ」が戻るお手伝いを致します。

◆もの忘れ外来

もの忘れが気になり始めたら…そのほか

・今まで出来ていた仕事や日常のことができなくなってきた。

・時間や場所の感覚があいまいになってきた。

・気分が変動しやすくなった。

などの症状でお悩みの方、ご家族の方はお気軽にご相談ください。

なお、次号でも専門外来を特集予定です。

一般外来・専門外来の受付時間・担当医師予定表等は本誌12ページをご覧ください

訪問看護のご案内

外来では、病気の再発や再入院を防ぐことを目的に訪問看護を実施しています。通院している方のご自宅を訪問し、家庭や地域社会でより暮らしやすく生活していけるように

支援しています。

■どんなことをしてくれませんか？

生活の場に伺い、その方の不安やストレス、健康面の相談に応じます。また、病気や治療、服薬などの療養上の相談や指導、生活全般にわたる相談など援助します。

■どんないい事がありますか？

①ご本人とゆっくり話しが出来ます。
②ご家族の悩みや相談を聞きアドバイスいたします。

③状態の変化の早期発見と対応が出来ます。

④医師や地域サービス機関との連携を図り、チームでサポートしていきます。

最後に

患者様お一人お一人に合うよう個々のサービスをきめ細かく行っています。また、地域の方もお気軽に相談できるよう専門スタッフと一緒に幅広く相談に応じています。ご来院できないときは電話でもお受けいたしますのでお気軽にご相談ください。

佐藤病院・外来 ☎023814013170

受付▼8時30分～16時30分

（※専門外来は16時まで）



介護保険のこれまでの経緯と取組みについて

はじめに

介護保険法が2000年（平成12年）4月1日に施行され、14年が経ちました。その間制度の見直し・制定があり、2006年4月に改正案が施行されて今日に至っております。ここで改めて「介護保険って何だろう?」「何故介護保険ができたのだろうか?」と振り返ってみたいと思います。

高齢化の進展について

1963年に老人福祉法が制定されましたが、当時の高齢化率は5.7%でした。

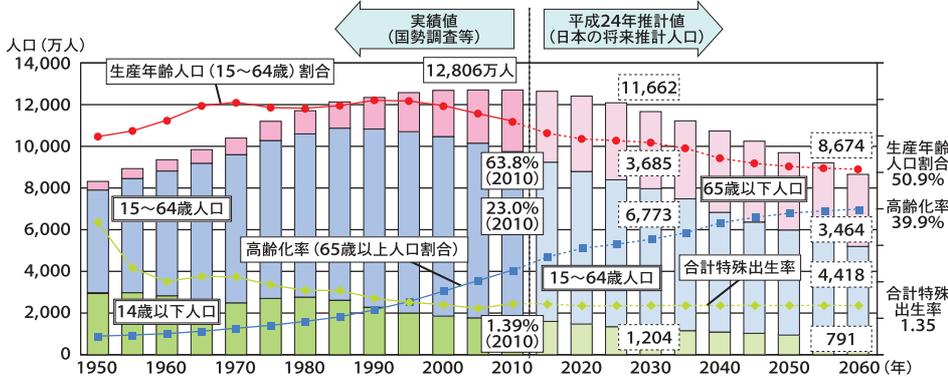
1973年に老人医療費が無料化された頃には7.1%になりますが、その頃から老人医療費が増えってきました。1980年代には高齢者の社会的入院や寝たきり者が社会問題となり、老人医療費の負担導入、ゴールドプランの策定を経て介護保険施行に至りましたが、高齢化率は17.3%まで上がっていました。

高齢化の進展に伴い、医療費の増大をはじめ要介護者の増加、少子化、核家族化、老老介護、老人単身者による介護者不在など次々と問題が表面化し、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設も増えました。しかし従来の老人福祉や老人医療制度の対応だけでは限界となり、2000年の介護保険法制定に至った経緯があります。

※高齢化率：65歳以上の高齢者人口（老年人口）が総人口に占める割合

■日本の高齢化率推移

引用 総務省 <http://www.soumu.go.jp/>



介護保険の内容について

① 利用者が施設の入所等のサービスで何が変わったのでしょうか?

② ケアマネージャーがサービスの計画を作成することで、家族の負担が減った

③ 事業者が多様化され、さまざまな事業所のサービスを受けられる

④ 利用負担が1割 という内容になりました。

現状と公徳会の取組みについて

利用者にとってはサービスが多くなることは大変助かることです。しかしながら、その反面、その後進む高齢化のため介護保険料が値上がりし、また、1人が複数の施設を申し込むことができることから、入所を待つ高齢者が増える等新たな問題も出てきました。ましてや高齢になると、色々な病気を発症するため、治療はもとより多様なサービスが不可欠となります。

そんな時代の流れとともに、公徳会でも多様な取り組みを行なってきました。

例えば介護老人保健施設のドミール南陽の場合、入所はもちろん、短期入所、通所によるケアやリハ

ビリを行い、家族や利用者ニーズに合わせてサービスを提供するきめ細かな対応を実践しております。最近においては、リハビリの需要が増え作業療法士や理学療法士の活躍が目覚ましい今日です。今後も高齢化は進みますが、公徳会各施設ではいつまでも元気で生活していただけますよう介護スタッフはじめ職員が一丸となりお手伝いさせていただきますと考えております。

なお、ご自宅を訪問し看護、医療的措置等を行う訪問看護「南陽訪問看護ステーション」の需要が増加し役割が増大していますので次号でご紹介いたします。

(本誌P4、6、P8の関連記事もご覧ください)



通所リハビリテーションで個別リハビリを実施

ドミール南陽デイケア

理学療法士 石井優子



通所リハビリテーション（以下、通所リハビリ）では、生活自体そのものがリハビリテーション（以下、リハビリ）であるという考えのもとに専門のリハスタッフ・介護士・看護師がそれぞれの視点でリハビリの援助をしています。食事をはじめトイレ・入浴・移動等を各利用者様に合った方法で行なうことにより能力の維持・向上に努める一方、利用者の方々の交流の場や集団での活動の場を設けて皆様に楽しんで頂いております。年齢は約60歳から100歳近い方まで、障害の程度も重い方から軽い方まで、様々な方が利用されています。1日20人前後と小規模ですがとても活気があり、私たちは圧倒されながらも日々楽しく笑顔で仕事に取り組んでいます。

「この距離は歩いていきましょう」「この距離は歩いていきましょう」というようなことでも、また、個別のリハビリも行っています。その方のご希望や、ご家族の方のご希望・現状等により目標を定め個別のリハビリを行います。その方らしい生活に近づけるように維持出来るようにしています。具体的には筋力向上の為に運動・痛みの軽減の為にストレッチやマッサージ・生活の中で実際に動きを練習するなど、その方に合わせたプログラムを立案し実施に結びつけていきます。私自身リハビリを行なう上での基本姿勢は、「いつも笑顔でリハビリ」です。運動するにあたり大変なことのほうが多いと思いますが、その気持ちをも吹き飛ばす楽しい雰囲気を作り、またリハビリをしたいという気持ちになっただけでいいことが大事であると思います。

これからも多くの方にご利用していただき、利用者の方はもちろんのこと、ご家族の方にもより安心して通所していただける通所リハビリを目指していきたいと思えます。

（本誌 p 4～7 の関連記事もご参照ください）

現場で働く人

シリーズ

上司から

ドミール南陽デイケア
主任 山 口 文 子



ドミール南陽デイケアは、介護保険を利用し在宅生活を支える「リハビリ」を行う施設です。中でも理学療法士の石井さんは、基本的動作能力の回復などを目的とし、利用者様が日常生活を元気でよりスムーズに送ることができるよう心身の支援を笑顔でコミュニケーションをとりながら個別に効果的にリハビリを行って来ています。いつの間にか心身の機能が高まり、生活意欲が引き出されている事には驚きです。

最近では、回復期病院退院後すぐに通所リハを利用される方が増えています。今後も専門的な観点と豊富な知識、経験、明るい人柄でより多くの利用者の笑顔が見られるよう、更なる活躍を期待しています。

個別リハビリの例



◀個別リハビリ中
(手首～指先)

Aさん 60代 男性 脳梗塞（左片麻痺）

- ・ベッドに寝て、手足の曲げ伸ばし（動く範囲を広げる為に）
- ・椅子から一人で何も使わず立ち上る練習
- ・支えなしでふらつかない様に立っている練習
- ・上記の練習を基にトイレでズボンの上げ下ろしの練習

Bさん 80代 男性 肩が痛く手が上がらない

- ・肩関節周囲のマッサージ
- ・肩関節の動く範囲を広げる（動きをよくする）練習
- ・肩関節筋力強化運動（運動用のゴム使用し、いろいろな方向に引く運動）

Cさん 80代 女性 歩行不安定な方

- ・足腰のストレッチ（なかなか自分だけでは伸ばせないところを伸ばします）
- ・台を使って昇降運動（バランス向上目的）
- ・立って足の屈伸運動（足の筋力強化目的）

Dさん 90代 女性 腰痛（脊柱管狭窄症）

- ・足腰のストレッチ（なかなか自分だけでは伸ばせないところを伸ばします）
- ・寝て、足の筋力強化の為に運動

ロコモ予防トレーニング

山形県では、介護が必要な状態になる原因の一つと云われる“ロコモティブシンドローム（運動器症候群。略称「ロコモ」）”の予防を啓発しています。予防後援団体企業として、今回は下肢の筋力強化をメインに基本的な運動を2つ紹介します。人それぞれ回数等違いが出てきますが、自分にあった方法で運動をやってみましょう。痛みなどが出ましたらすぐに止め、医師に相談してみましょう。

なお、山形県では独自の「花の山形！しゃんしゃん体操」を考案し普及に努めていますので、県のホームページ（「ロコモ山形」で検索）もご覧ください。

トレーニング その1 片足立ち

下半身の筋力強化とバランス力を目的とした運動です。
左右1分ずつ一日3回行いましょう。

転倒防止のため、必ずつかまるものがある場所で行いましょう。
バランスが取りづらい方は、少しつかまりながら行います。



背筋をしっかり伸ばし、両目を開けて行いましょう。

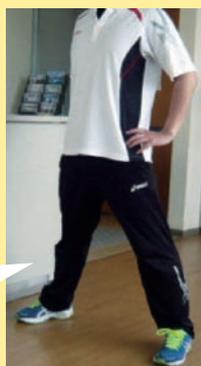
足は床につかない程度に片足をあげましょう。



トレーニング その2 スクワット

太ももの筋力強化を目的とした運動です。
一日5回を目安として3セットゆっくりと行いましょう。

①肩幅より少し広めに足を広げて立ちます。つま先は30°位開きます。



②膝がつま先より前にでないように、また膝が足のひとさし指の方向に向くように注意して、お尻を後ろに引くようにしゃがみます。

スクワットができないときは、イスに腰掛け、机に手をつけて立ち座りの動作を繰り返してみましょう



運動前、運動後に行う 簡単なストレッチ

下半身の筋力強化とバランス力を目的とした運動です。
左右1分ずつ一日3回行いましょう。

ストレッチを行う上での注意事項

- ・呼吸を止めないように注意しましょう。
- ・1つの動作を20～30秒行いましょう。
- ・ストレッチする部位を意識して行いましょう。
- ・痛いと感じない程度、適度に伸ばしましょう。



ひくひはぎ



ふともも裏



ふともも 膝裏

プールでの運動も有効です

メディカルフィットネススマイルは、厚生労働大臣認定の健康運動増進施設です。スマイルにあるプールの特徴は、心臓への負担が少なく、運動が可能なことです。水深は80cm～115cmで水中運動を行うために最も効果的で身体に負担をかけないように考えられています。水温は人が一番リラックスできるといわれている温度帯に設定しており、肌寒さを感じることなく運動を行えます。歩行レーンには水流を作るジェットが付いていて、その水流を負荷にかけて運動したり、身体にあてて筋肉をほぐしたりできます。

膝や腰が気になる方でも運動ができますので、プールでロコモの予防や筋力づくりをしてみませんか？

利用者様の声

50歳代
女性

健康診断で注意を受けていたが、利用してからは、褒められるようになりました。

20歳代
男性

トレーニングの仕方を教えてもらってから一年間で体重が10kg弱落ちました

ロコモティブシンドローム

2の2

厚生労働大臣認定
健康増進施設
山形県ロコモ予防後援団体企業
メディカルフィットネススマイル

公徳会 創立「35周年」



7月1日(火)
当法人の創立
記念式典が行
われました。

今年35年前
5人で立ち上
げた診療所が
今春の佐藤病院新外来・入院棟の改
築オープンを経て迎えた節目の年
役職員に対し理事長は、今後も「精
神科医療のあるべき姿」を探索する
とともに、社会医療法人の立場の重
要性を再認識し、全職員で地域医療
をリードしていくことが必要である
とのメッセージを贈りました。

その中で理事長は、今後のキーワ
ードとして「医療・福祉の連携」と
「地域移行の推進」、「病院・施設完
結」から「地域完結」を挙げ、業容
の拡大化・多様化に伴う病院経営と
構造の変革という大きな課題に、職
員皆さんからの協力が益々必要であ
る点に加え、全
国上位進出の期
待が高まる野球
部を含めた組織
の更なる一致団
結を求めました。
その後行われ
た永年勤続表彰
式では、30年、
20年、10年の各
受表彰者37名に賞
状と記念品等が



授与され、代表して30年表彰の村山
友広部長代理(総務部業務支援)が
謝辞を述べ、今後も職員一丸となり
全力投球していくことを誓いました。

今年も満開 花いっぱい運動



公徳会各部
署が「花ある
風景」を競い
合う花いっぱい
運動。今年
も5月にスタ
ートしました。
同時に、新
入職員が県の
事業とタイア
ップして行う
マイロードサポ
ート活動もスタ
ートしました。

5月下旬に国道113号線沿いの
花壇に生き生きと植栽された花々が
そよ風に揺られながらドライバーの
方に一服の涼感を届けています。
花々が敷地内外で10月上旬まで皆
さまの目を楽しませてくれることを
願いながら各職員が交替で水かけを
やっています。

いかががでしようか？ オリジナル経口補水液

若宮病院栄養科では、患者様の熱
中症や脱水・発熱リスク対策として
手作りのオリジナル経口補水液を提
供しています。1日2回、患者様に
飽きが来ないよう配慮した日替わり
の味が実に好評。当初昨年夏のみの
予定が年間を通しての提供となりま

した。

皆様の好みで「やったり今日は○
味だ！」という声や、普段お茶な
どあまり飲み進まない方がよく飲ん
でくれるといった情報も耳にします。
今後とも熱中症等予防の一助として
継続して提供していきたいと思っ
ます。

経口補水液：体内で失わ
れた水分や塩分などを速
やかに補給できるように
成分を調整した飲料。熱
中症の初期段階で水分を
補給する場合、水をその
まま飲むよりも有効とさ
れる。



佐藤病院・更新認定 病院機能評価新Ver.1

佐藤病院は平成26年3月に更新審
査を受審、改善要望事項等もなく6
月に正式に更新認定を受理しました。



平成16年3月に日本医療機能評価
機構の認定基準を達成し初の認定
(Ver.4)を受け、5年後の21年3月
に更新認定(Ver.5)、そして今回
の更新認定(新Ver.)となりました。
第三者評価により引続き医療の質
が一定水準以上の評価を得ました。
今後ともより一層医療の質・安全向

公徳会より「夏のお知らせ」

8月
2日(土)・3日(日)
野球スポ少大会
初日 8:30am(開会式)～
2日目 9:00am～

第16回公徳会杯野球スポーツ少年団交流大会が開催されます。
初日は南陽市向山ソフトボール球場にて1・2回戦、準決勝が行われ、
2日目の決勝は公徳会野球グラウンド(市内、元中山)にて行います。
今年の優勝チームは？ 8チーム参加の今大会、各選手には昨年の雨天
中止を追い払うようなハッスルプレーが期待されます。



8月
9日(土)
夏祭り・花火大会
夏祭り 6:00pm～8:30pm
花火大会 8:00pm～8:30pm
(雨天順延8月11日(月))

2年振り、「夏祭り」開催。昨年、佐藤病院改築中で花火大会のみ実施
し中止となった夏祭り。今年は、花火大会を含めて公徳会敷地内にて
“恒例の夏祭り”(32回目)を実施します。皆様の多数のお越しをお待ちし
ております。尚、敷地内は全面的に「禁酒・禁煙」「車両乗入れ禁止・
駐車場無し」とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。





澤村 一司 先生
さわむら かずし

■所 属 若宮病院
■診療科目 精神科
■出身地 山形県
■趣味・特技 音楽鑑賞、お取り寄せ
■一言

長らく新潟で生活していましたが、縁あって故郷の山形に戻ってきました。久しぶりの生活には懐かしさだけでなく戸惑いもありましたが、皆さんに助けられ順調にスタートできたと思います。今後よろしくお祈りいたします。



松本 早栄子 先生
まつもと さえこ

■所 属 若宮病院
■診療科目 精神科
■出身地 神奈川県
■趣味・特技 特にありません。
■一言

出身の神奈川県平塚市は海から程近い暖かい場所です。初めての東北での生活は心配も多いですが、すごく親切にして頂き有難く思っております。慣れない事が多いですが、宜しくお願い致します。



池田 容幸 先生
いけだ ひろゆき

■所 属 佐藤病院
■診療科目 精神科
■出身地 神奈川県
■趣味・特技 食べ歩き
■一言

はじめまして。山形は自然が豊かで食べ物も美味しく過ごしやすいですね。まずは皆様に名前を覚えて頂き、気軽に声をかけて頂けるように、笑顔を忘れず精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



安田 篤史 先生
やすだ あつし

■所 属 佐藤病院
■診療科目 精神科
■出身地 大阪府
■趣味・特技 スポーツや動物をTVやネットで見る
■一言

生まれは大阪で、幼少期に神奈川県に引っ越しました。筑波大学病院での初期研修を終え、佐藤病院で研修させて頂いております。どうぞよろしくお祈りいたします。

ア運動交流会が開催されました。一部競技にはスタッフも参加し各選手は一段とハッスル。そして、互いに日頃は見られない一面が垣間見られ、ともに楽しく有意義な時間を満喫。今から来年が待ち遠しい交流会となりました。



6月20日(金) トータルヘルスクリニック、米沢駅前クリニック、若宮病院の利用者様が4チームに分かれて競う合同デイケア

3施設合同 デイケア運動交流会

連・青森代表に残念ながら0-2で惜敗、交流戦も札幌市代表に1-2で惜敗しました。今後、皆で秋の県大会連覇を目指して一層練習に励んでいきたいと思っております。



全国障がい者ソフトボール大会北海道・東北ブロック予選会が6月29日(日)宮城県大崎市で行われ、県代表のかけはしデイケアソフトボール部は一回戦で全国常

県代表・ソフトボール部健闘

上に努めてまいります。

こうとく29号の表紙



紅花 7月の梅雨の時期から梅雨明けにかけて、真黄色の花を咲かせます。原産地からシルクロードを経て、渡来した紅花は山形で美しく花開きました。そして昭和57年に山形県の花として定められ、山形県民に広く親しまれています。

写真：渡部俊一

今年最初の大会・県クラス別選手権が6月7日・8日米沢市皆川球場で行われ、野球部は見事Aクラスで2連覇を達成しました。同じく7月5日・6日に同球場で開催された国民体育大会県予選も2連覇を達成、順調に東北大会に駒を進めました。幸先のいいスタートを切った野球部に全職員の声援もヒートアップ、今シーズンの目標「全国ベスト4」に向けてオール公徳会で真価発揮への期待が大いに高まっています。



野球部の活動状況 大会連覇で始まる

今年も看護学生職員募集！

～職員として看護学校へ通学、給与が支給されます～

- 制度／公徳会の職員として看護学校（大学・短大・専門）へ通学。
- 給与／在学中毎月支給されます。
- 条件／卒業後も職員として継続勤務可能な方（南陽市、山形市）。
- 対象／看護学校にこれから進学される方、通学されている方。
- 現況／学費等の負担軽減、国家試験対策等メリット多く好評。
- 連絡／詳しくお知りになりたい方はご遠慮なく下記までお問い合わせください。

公徳会・人事部人事担当 ☎0238-40-3170（内線2102）



外来受付時間・担当医師予定（7/1～）

【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	佐藤・沼田・間藤	御供・計見	佐藤・間藤	沼田・阿部(宏)	高橋	御供・阿部(宏)	
午後3:00～4:30	栗田・高橋	大和	武吉		中尾		
専門予約 午前8:30～11:30					齋藤(卓) (児童思春期)		
専門予約 午後2:00～4:00	沼田 (アルコール)	栗田 (ほほえみ)			御供(もの忘れ) ※第2週目は 休診	齋藤(卓) (児童思春期)	

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	鈴木(庸)・山本・阿部(詔)	長谷川・澤村	長谷川・鈴木(庸)	山本・松本	日向・阿部(詔)	竹内・澤村・岡村	
午後1:30～4:30	鈴木(庸)・日向	岡村・阿部(淳) (第1・3・5週) 松本(第2・4週)	山本		鈴木(庸)・竹内		
専門予約 午前8:30～11:30			成重 (児童思春期)		長谷川 (もの忘れ)	鈴木(庸) (アルコール)	
専門予約 午後1:30～4:30	竹内 (うつ病)	成重・日向 (児童思春期)	小林 (もの忘れ) (第2・4週)	山本 (アルコール)			

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	御供	中尾	栗田	武吉・高橋	沼田	大和・当番医	
午後3:00～4:30	大和	間藤	中尾		阿部(宏)		

【トータルヘルスクリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	川合	川合	川合	伊澤	川合	伊澤or川島	
内科 予約制 午後2:30～4:00		川合					
歯科 予約制 午前9:00～11:30 午後1:30～4:30	笠原	笠原	笠原	笠原	笠原		

※各施設担当医師については変更する場合がありますのでご了承ください。

※診療及び、各種お手続き等に関するご相談・お問い合わせは佐藤病院医療福祉相談室(TEL.0238-40-3170)

もしくは若宮病院医療福祉相談室(TEL.023-643-8222)にて受け付けいたします。

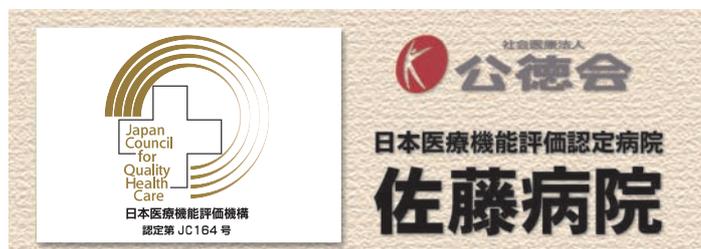
診療情報（平成26年度）

【佐藤病院】

	4月	5月	6月	平均
外来件数(一般外来)	69.2	62.3	62.4	64.6
(うち、児童思春期外来件数)	102	95	103	100.0
(うち、うつ外来件数)	64	77	32	57.7
(うち、アルコール外来件数)	4	3	13	6.7
(うち、もの忘れ外来件数)	20	31	39	30.0
(うち、時間外外来受診件数)	21	14	10	15.0
入院者数【総ベッド数258床】	247.0	252.4	245.8	248.4
入院件数	46	39	47	44.0
(うち、措置・応急入院件数)	0	2	0	0.7
退院件数	38	49	48	45.0
平均在院日数	139.2	149.7	131.8	140.2
(うち、救急病棟平均在院日数)	71.0	73.7	66.9	70.5

【若宮病院】

	4月	5月	6月	平均
外来件数(一般外来)	60.3	59.0	56.6	58.6
(うち、児童思春期外来件数)	213	174	186	191.0
(うち、うつ外来件数)	56	39	44	46.3
(うち、アルコール外来件数)	9	6	8	7.7
(うち、もの忘れ外来件数)	6	6	5	5.7
(うち、時間外外来受診件数)	11	25	12	16.0
入院者数【総ベッド数165床】	150.3	154.1	157.0	153.8
入院件数	25	36	27	29.3
(うち、措置・応急入院件数)	1	1	1	1.0
退院件数	28	29	28	28.3
平均在院日数	170.1	147.0	171.3	162.8
(うち、救急病棟平均在院日数)	76.3	63.3	84.3	74.6



記載内容につきまして、ご意見・ご質問・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

公德会 広報誌 こうとく No.29

平成26年7月16日発行 製作 社会医療法人 公德会
編集 公德会広報委員会

〒999-2221 山形県南陽市櫛塚948-1
TEL.0238-40-3170 / FAX.0238-43-2076
✉sato-hp@koutoku.or.jp http://www.koutoku.or.jp